

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年 3月 26日

事業所名 岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		畳、床のスペースを設けている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			非常出口の段差解消を検討中。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		週1回、所内会議で意見交換や情報共有に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		定期的に事業所内会議で自己評価や支援の改善内容を共有し、公表する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		来年度は、外部評価を行なうよう検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修計画に基づき、内部・外部研修会参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化アセスメントツールの使用を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		支援計画に基づいて、休日や長期休暇の細やかな支援内容を職員間で共有し支援する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		児童の状況に応じた支援計画の作成に努める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日のスケジュール表で医療的ケア、療育、介護など役割を分担し、スタッフの見える限り当日の	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行っているが、伝達できるよう所内連携帳を使用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録に利用中の状態や、出来るようになったこと、少しの変化なども記載し家族に書	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○		職員間で勉強会を開催する	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		総合病院や主治医と利用開始時に面談し、随時連携をとっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		連携シートを活用して情報共有し、会議を開催し移行支援を行なっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		連携シートを活用して情報共有し、会議を開催し移行支援を行なっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修会や会議の際に、意見交換や情報交換を行なっている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		児童に応じて活動機会を検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に児童の様子を伝え、対応について保護者から意見を聞き助言や指導を行なっている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		家族支援の研修を受け、実施していけるよう努める。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			直接支援はできていないが、活動支援の方法について検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		活動の概要や連絡体制等情報発信の方法を検討する。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		月1回、地域住民との交流会を行なっている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルは策定して職員・保護者に周知しているが、訓練の実施を計画する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回の火災避難訓練を継続し、災害や防犯等避難訓練の実施を計画する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		身体拘束について事業所内で決定する。必要時は十分保護者に説明し、同意書を作成し支援計画にも記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			